



A SAFE COMMUNITY KURUME

国際基準の安全・安心まちづくり セーフコミュニティ

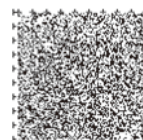


久留米市イメージキャラクター **くらっぽ**

セーフコミュニティとは？

セーフコミュニティは、WHO（世界保健機関）が推奨する安全・安心なまちづくりの国際認証制度です。

「日ごろのけがや事故は、偶然の結果ではなく原因を究明することで予防することができる」という理念に基づき、様々なデータを活用しながら、地域社会全体で進める安全・安心なまちづくりの取り組みです。

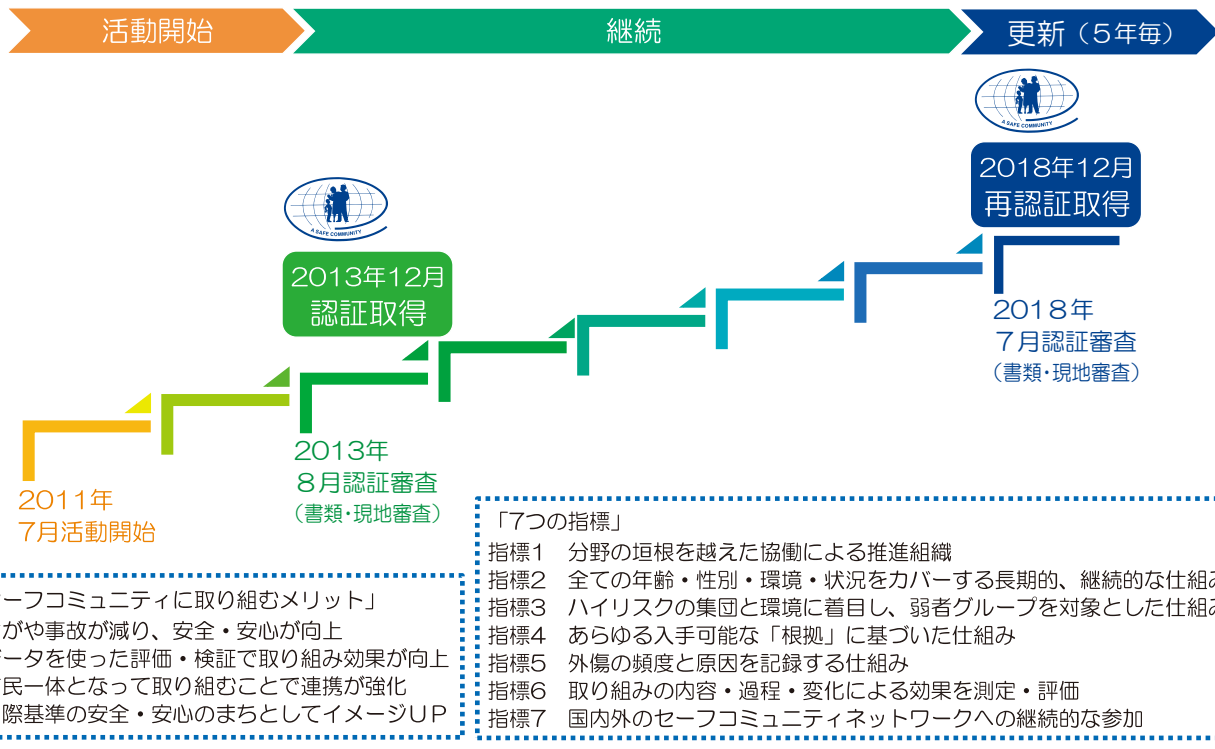




セーフコミュニティの認証制度と特徴

国際基準の認証制度

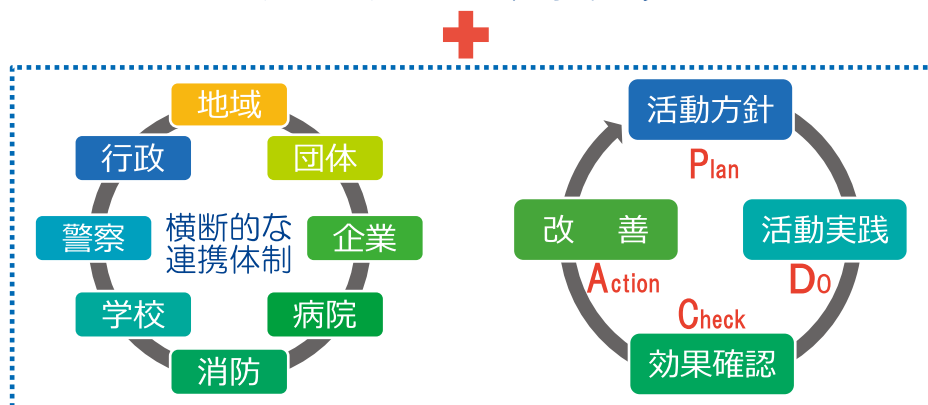
国際認証を取得するには、国際セーフコミュニティ認証センターが定める「7つの指標」を満たしていることを審査（書類審査・現地審査）で示す必要があります。
久留米市は、2013年（平成25年）12月に国内で9番目、中核市や九州の自治体では初めて国際認証を取得し、2018年（平成30年）12月には再認証を取得しました。



セーフコミュニティの特徴

地域、関係団体、行政など、分野の垣根を越えた連携・協働で、安全安心のまちづくりを実現していきます。

安全・安心の取り組み



オール久留米で
やいよるばい！！



セーフコミュニティの推進体制

重点取組分野・項目

久留米市内で発生しているけがや事故の状況などから、「交通安全」「子どもの安全」「高齢者の安全」「犯罪・暴力の予防」「自殺予防」「防災」の6分野及び10項目を決めて、重点的に取り組んでいます。

推進組織

▶ **久留米市セーフコミュニティ推進協議会**
市、警察、消防のほか、地域の安全・安心活動に関わる多くの団体が参画し、基本方針などを決定しています。

▶ 対策委員会

専門分野に携わるメンバーで構成され、具体的な取り組みの検討や見直しなどを行っています。

▶ 外傷等動向調査委員会

外傷データなどの収集・分析を行い、取り組み効果の測定や対策委員会の支援などを行っています。

重点取り組み分野

重点取り組み項目

1 交通安全

- ①高齢者の交通事故防止
- ②自転車事故の防止

2 子どもの安全

- ③児童虐待の防止
- ④学校の安全

3 高齢者の安全

- ⑤転倒予防
- ⑥高齢者虐待の防止

4 犯罪・暴力の予防

- ⑦犯罪の防止・防犯力の向上
- ⑧DV防止・早期発見

5 自殺予防

- ⑨自殺・うつ病の予防

6 防災

- ⑩地域防災力の向上

子どもから高齢者まで
みんな安全・安心！



- ・基本方針の協議、決定
- ・全市的な連絡調整

久留米市セーフコミュニティ推進協議会

対策委員会

交通安全
児童虐待防止
学校安全
高齢者の安全
防犯
DV防止
自殺予防
防災

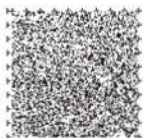
外傷等動向調査委員会

- ・けがや事故のデータ収集、分析
- ・取り組みの効果や影響等を測定、評価

- ・具体的な取り組みの検討
- ・既存の取り組みの改善
- ・新たな方策等の検討

久留米市役所内のセーフコミュニティ推進会議

- ・行政としての取り組み方針等の決定

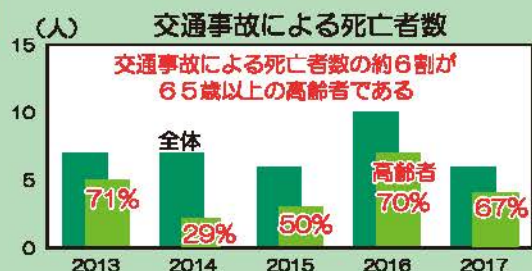




セーフコミュニティの各対策委員会の取り組み

① 交通安全対策委員会

現状



成果

高齢者の交通事故発生件数
(高齢者人口1万人当たり)



予防対象

高齢者の交通事故

自転車の交通事故

主な課題

■運動能力や身体機能の変化に応じた行動が取れていない

■薄暮時から夜間にかけて歩行中の死亡事故が多い

■自転車に関するルールを守らない・知らない人が多い

主な取り組み

■運動能力や身体機能に着目した啓発・講習



■明るい服や反射材の着用キャンペーン



■交通安全教室
■自転車安全利用キャンペーン

② 児童虐待防止対策委員会

現状



成果

赤ちゃんふれあい体験の実施校数



予防対象

児童虐待

主な課題

■子育てに関する相談相手がない

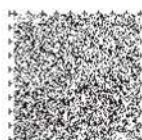
■子ども自身が親になる前に、赤ちゃんと接する機会が少ない

主な取り組み

■乳児家庭訪問事業の地域連携



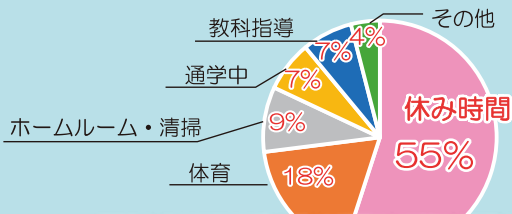
■赤ちゃんふれあい体験



3 学校安全対策委員会

現状

小学校でのけがの発生状況（2012～2016年）



学校におけるけがの多くが休み時間に発生している

成果

モデル校におけるけがをした児童数

2011年度

95人



37.9%減少

2016年度

59人

予防対象

校内でのけが

登下校中の
交通事故

登下校中の
犯罪

主な課題

■学校内で安全に過ごすための認識や意識が低い

■登下校時の事故が多い
■交通ルール・マナーの認識が低い

■不審者に遭遇した時に、適切に対応できる児童は少ない

主な取り組み

■児童主体の安全マップ作成、校内放送による呼びかけ

■体験型の交通安全教室



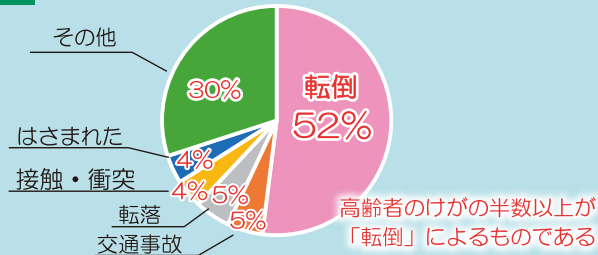
■防犯教育や、地域・保護者と連携した見守り活動



4 高齢者の安全対策委員会

現状

高齢者のけがの原因（2017年）



高齢者のけがの半数以上が「転倒」によるものである

成果

認知症サポーターの養成者数

2013年度（認証取得）

のべ
7,326人



3.3倍

2017年度

のべ
24,476人

予防対象

高齢者の
転倒

高齢者虐待

主な課題

■「転倒」に不安を感じている人は多いが、対策をしている人は少ない

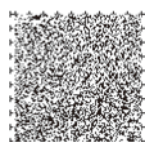
■虐待や認知症への理解が十分でない

主な取り組み

■転倒予防のための健康づくりや体力維持、介護予防



■虐待や認知症に関する講演会、学習会

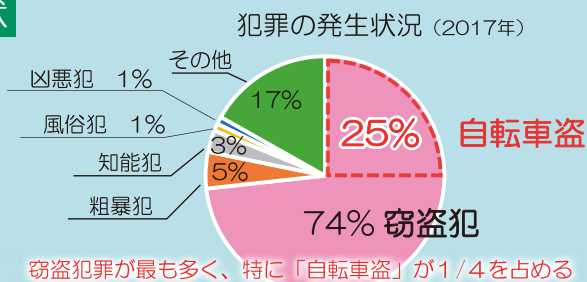




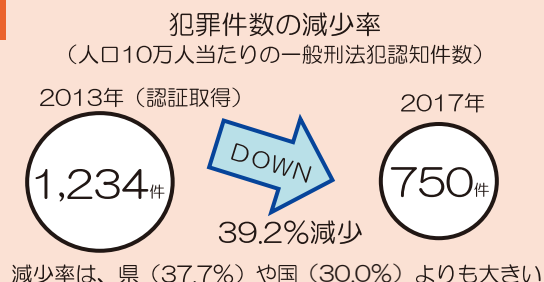
セーフコミュニティの各対策委員会の取り組み

5 防犯対策委員会

現状



成果



予防対象

犯罪

主な課題

- 街頭犯罪の中で「自転車盗」が最も多い
- 大型商業施設や駅、繁華街周辺で犯罪が多い
- 高齢者や女性を狙った犯罪が増加、手口が多様化している

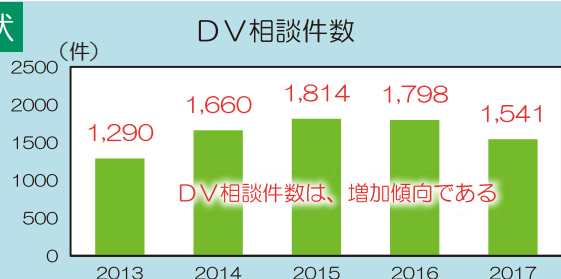
主な取り組み

- 被害が集中する駐輪場などで、自転車ツーロックの呼びかけ
- 防犯カメラ、防犯灯の設置
- 青パトなど地域自主防犯活動の支援、連携強化
- 特殊詐欺や性犯罪防止啓発キャンペーン



6 DV防止対策委員会

現状



成果



予防対象

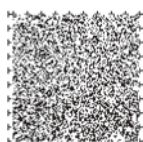
DV

主な課題

- DVを容認しない意識や正しい認識づくりが十分でない
- DV被害者のうち40%以上が誰にも相談していない
- 医療関係者が第一発見者となるケースが多い

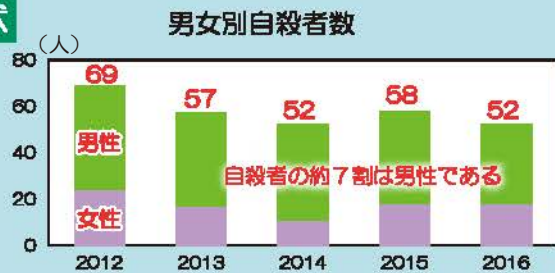
主な取り組み

- 教育現場におけるデートDV防止などの研修
- DVを正しく理解してもらい早期発見・支援につなげるための医療関係者向け研修



7 自殺予防対策委員会

現状



成果



予防対象

自殺・うつ病

主な課題

- 働き盛りの男性が、悩みを相談できず自殺に至る傾向がある
- 自殺既遂者は、精神科既往歴の割合が低い
- 自殺に至る要因は複数あり、複雑に絡み合っている

主な取り組み

- ゲートキーパー研修



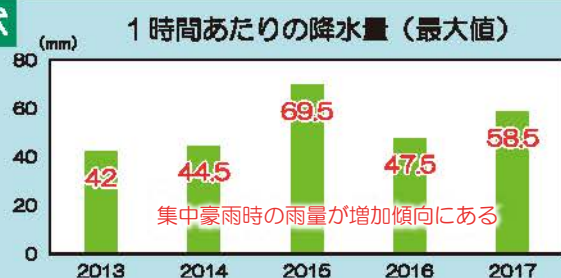
- かかりつけ医から精神科医へつなぐ医療機関の連携強化

- 民間団体と連携し、経済面や精神面に関する相談支援



8 防災対策委員会

現状



成果

自主防災訓練・研修の実施回数と参加者数



予防対象

■災害時の死者、負傷者

主な課題

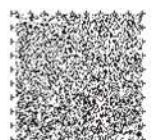
- 災害時は、防災関係機関だけでは対応が困難である
- 大規模災害時は、高齢者や障害者などが犠牲になりやすい

主な取り組み

- 定期的な防災訓練、防災リーダー研修



- 災害時要援護者の個別支援計画作成





はじめよう！つづけよう！セーフコミュニティ

一人ひとりが
「予防」や「備え」の意識を持って
できることから始めましょう。
目指せ！「住みやすさ日本一のまち！」

年齢や性別にかかわらず、
みんなでできる取り組みばい！



交通安全

実践しよう！『自転車安全利用五則』

- 1.車道が原則
- 2.左側を通行
- 3.歩道は歩行者優先
- 4.安全ルールを守る
- 5.子どもはヘルメット着用



夜は必ず身につけよう！



あなたを守る
反射材

子どもの安全

「虐待かも」と思ったら、すぐに電話！



または

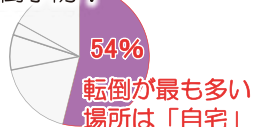


地域で守ろう！子どもの安全 みんなの笑顔！



高齢者の安全

日ごろの「足指体操」で
転倒予防！



認知症への正しい理解とサポートで
高齢者虐待を防止！



犯罪・暴力の予防

電話でお金の話はすべて詐欺！！



あわてない
いったん切る
たがう
えんぴせずに相談
金を振り込まない

あなたや身近な人が
DVを受けていませんか？

ストップ
DV
一人で悩まず相談を！



自殺予防

あなたの心は
元気ですか？



ひとりで悩まず
相談してください

気づいていますか？身近な人のSOS
ひろげよう
『ゲートキーパー』



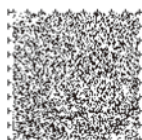
防災

準備していますか？災害に備えた「備蓄品」

- 水、食料（最低3日分～1週間分）
- カセットコンロ、ライター、ナイフ、缶切り
- 懐中電灯、雨具、手袋
- タオル、トイレトーパー、ビニール袋
- 貴重品、常備薬 など

家族みんな知っていますか？

災害時の
避難場所・経路



久留米市協働推進部安全安心推進課

TEL：0942-30-9094

FAX：0942-30-9706

MAIL：anzen@city.kurume.fukuoka.jp

2018年12月発行